

専門ガイド中島すい子さんと 魚沼の里に残る「石川雲蝶」の作品群を訪ねて

抽選
企画

イヤホン
ガイド付

1泊2日

越後の名匠と言われながら未だ知る人の少ない「石川雲蝶」の作品の魅力を探しに行く旅です。石川雲蝶は江戸時代末期に江戸に生まれ、幕府御用勤めの彫師として20代ころから活躍していました。縁あって越後につづり40年余の後半生に1000体の作品を残しました。木彫・石彫のみならず絵画も見事です。しかし激動の時代の中で長らく埋もれていましたが、近年「日本のミケランジェロ」と評価されるようになりました。その作品はときに力強く、ときには豊艶で見る者の心をとらえて離しません。160年前に雪深い魚沼の里に遺された渾身の作品群を巡り、作品の見えないところに隠されている雲蝶の遊び心を一緒に探してみましょ。雲蝶の魅力のとりことなった専門ガイドの中島すい子さんが私たちが見落とすような細かなところにまで丁寧な説明をさせていただきます。

1日目 古民家での伝統的郷土料理と雲蝶の作品を訪ねて

浦佐駅に到着後、150年前に建てられた越後の典型的田舎作り「櫻苑」で四季の恵みを生かし、ひとつひとつ丁寧に調理された郷土料理をいただきます。午後はいよいよ雲蝶の制作した欄間や襖絵の残る八海山龍谷寺を拝観し、近くの村落到ひっそりとした佇む小さなお堂の穴地十二社に残された雲蝶の作品を訪ねます。お宿は環境省により国民温泉保養地に指定されている六日町温泉の「旬彩の庄 坂戸城」です。少し早めに宿に入り、ゆっくりと温泉で一日の疲れを癒してください。



八海山龍谷寺



櫻苑食事



櫻苑外観

2日目 庄巻の西福寺開山堂と 針倉山永林寺に遺された作品を鑑賞

西福寺開山堂に残る雲蝶の代表作「道元禅師猛虎調伏之図」は天井一面に極彩色の透かし彫りが施され、見る者を圧倒し見飽かすことはありません。それとは対照的に針倉山永林寺の欄間の天女の透かし彫りはたおやかで豊艶、雲蝶の理想とする女性像を想像してしまいます。二つの作品の対比をお楽しみください。昼食は魚沼名物の「へぎ蕎麦」を召し上がっていただきます。午後は塩沢宿牧の通りをガイドと散策いたします。かつて三国街道の宿場まちとして、また「塩沢細」の織物の町として発展していましたが人口減少・高齢化でさびれていました。近年、官民一体でまちづくりに取り組み伝統的な雁木と切妻屋根の続く美しい街並みが蘇りました。石川雲蝶とも縁の深い寺や宿場時代からのお店などが残っています。「北越雪譜」の著者として知られる鈴木牧之の生まれた町でもあります。そのあと塩沢在住の水彩画家外山康雄さんの描く四季折々の山野草の絵が生山野草とともに展示されている「外山康夫野の花館」に立ち寄り、絵を見ながらコーヒーで午後のひとときを楽しんだ後、越後湯沢駅から新幹線で東京へ戻ります。



永林寺



外山康夫野の花館



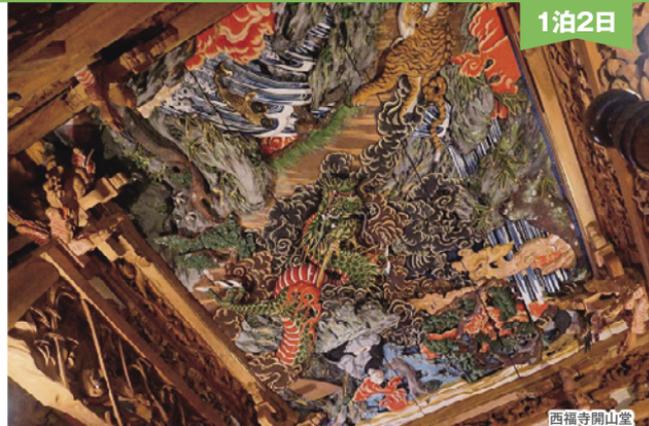
塩沢宿



中島すい子さん

ガイドの中島すい子さん紹介

「石川雲蝶の作品を堪能するツアー」の専属ガイド。2015年南魚沼雲蝶会を設立し、石川雲蝶の全国的デビューを目指して活躍中。著書に「私の恋した雲蝶さま」、DVD「石川雲蝶作品巡り」



西福寺開山堂

旅行期間	2024年10月27日(日)~10月28日(月)	
旅行代金	2名様1室利用 (お一人様) 87,000円	募集人員 16名様 (最少催行人員8名様)
	※1名様1室追加代金2,200円(1泊)	
宿泊ホテル	旬彩の庄坂戸城 (和室)	

1	東京駅発(10:15)→上越新幹線(普通車指定席)→浦佐駅着(11:42)→(専用バス)→「櫻苑」にて昼食(郷土料理)→◎八海山龍谷寺拝観→◎穴地十二社→六日町温泉「旬彩の庄坂戸城」着(16:00頃)→夕食 [食事:朝×・昼○・夕○]【旬彩の庄坂戸城(泊)】
2	ホテル出発(08:30)→(専用バス)→◎西福寺開山堂社拝観→◎針倉山永林寺拝観→(専用バス)→「田畑屋」にて昼食(へぎ蕎麦)→(専用バス)→◎塩沢宿→(専用バス)→◎外山康夫野の花館(約45分)→(専用バス)→越後湯沢駅発(17:41)→上越新幹線(普通車指定席)→東京駅着(19:00) [食事:朝○・昼○・夕×]

★本企画は抽選受付です。締切日:8月9日(金) 抽選結果は8月13日以降、順次ご連絡いたします。

- 添乗員/同行します
- 食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回
- 交通機関/JR上越新幹線(普通指定席)、中型または小型貸切バス(予定運行会社/銀嶺バス)
- 集合場所/東京駅新幹線ホーム
- ご案内 ※スケジュールは天候状況、現地事情により日程の一部が変更される場合があります